

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社スズキ自販近畿 アリーナ高槻	階数	地上2F
建設地	大阪府高槻市今城町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年11月11日
敷地面積	3,000㎡	作成者	塩見絵里子
建築面積	1,774㎡	確認日	2021年11月12日
延床面積	3,386㎡	確認者	定森淳一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 86%  
③上記+②以外の 86%  
④上記+ 86%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.1
光・視環境	3.5
空気質環境	3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.3
耐用性	3.3
対応性	3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	2.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.3
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.5
地域環境	3.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新・維持管理に優れた建物の計画</li> <li>節水や非再生性資源の使用削減により環境保全に努めた</li> </ul>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイサイドライトと同等の効果をもつ大型建具の設置により光環境に配慮した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>階高や空間の形状・自由さにゆとりを持たせ、将来の用途変更可能性を考慮した。</li> <li>給排水配管材に更新期間が長い材を採用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り緑化に努め、周辺のまちなみや風景に調和するように配慮した</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>高効率設備の採用等により、省エネルギー性に配慮した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省水型便器、自動水栓、節水コマの採用により節水性を高めた計画</li> <li>グリーン購入法における「特定調達品目」の採用や、解体時の分別が容易な工法の採用により非再生性資源の使用削減に努めた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼機器を使用せず大気汚染物質を排出しないことにより、地球環境へ配慮している</li> <li>光害の抑制</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0082

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	株式会社スズキ自販近畿 アリーナ高槻 移転新築工事					
		建設地	大阪府高槻市今城町					
		用途/区分	物販店 工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					2		
④	エネルギー削減					3		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4		
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			3.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			2.0	2		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.3	3		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								